

はじまりの色



初めて出会ったみんな。これから使うアトリエをカラフルに彩るように旗を作ろう！アーティストはこの町で見つけた大漁旗を子どもたちに見せ、まずはそれぞれが考える旗を自由に紙に書いてみる。その後大きな布を出し、いざ！色選び、どこに何を描く、となりの人の描いているものと共存したり影響しあったり。旗がカラフルになるにつれ、子どもたちも打ちとけて制作に没頭していきました。



本と旅することのは



“うみの図書館”、“漂流する本”、“本にはさまって旅をする”そんな話を聞いて、想いにふける子どもたち。今日のアーティストは筆の扱い練習もかねて、それぞれが描きたいものを紙に描く時間を設けた。じゅうぶんに描いたあと、いよいよ“ことのは”を作成。「この色がいいんじゃないかな」「こんな形つくったよ!」「東京まで旅するかなあ」つぶやきもあり、黙々と集中して作ったり、「ここ(前回作った旗の茶色)チョコレートの匂いがするよね」と実しやかに話しながら休憩。図書館に栞として使ってもらう分を飾り、自分も本を借りてはさんで持って帰ったりしていました。



松にゆれるグラデーション



アーティストと一緒に松の道を歩きながら、藍染屋さんにむかう。色や形、匂いや風、光を感じ取っていく子どもたち。制作では、“グラデーション”について教えてもらい、おのおのが今自分が見つけてきた色やカタチ、素材の組み合わせなどを作っていく。できあがったものをすぐ目の前の海に運び、インスタレーション！時間がたつごとに布は平面から短尺状になり、グラデーションが風に揺れる。



光る海のしずく



アーティストの「海から何が生まれるかなあ？」の問いかけからスタート。思いついたことを色や形で描き、熱を加えて波打つかたち、光る素材をつけて、身につけられるものに仕上げていく。

外の光に当ててみよう。色が変わった！海に浮かんでいるみたい！こっちにしたら空～♪と動かしたりして過ごす。まだ会っていない次に会う子たちの分も作って。次回是一緒に踊ろうね！



おどる夏越祭



「はじまりのアトリエ」春夏のラストは、子どもたちがこの町で色々なアーティストと見て、感じて、表現してきたことを振り返りながら、思いつく動きやポーズをつなげてダンスを創作しました！4月の自分たちのアトリエのために作った「大きな旗」、5月うみの図書館で海と旅する「こののは」、6月松の遊歩道を歩きながら発見した「松」「きのこ」「よもぎ」たくさんあったね！みんなが作った松にゆれるグラデーションは纏になって一緒に踊った。7月「光る海のしずく」、このオブジェは今日来たみんなの分も作って身につけて踊った。みんなが表現することは、感じてココロおどらせたこと。作るのもおどるのもねっことは同じ。1年の半分に何を感じてきたかを共有して、お家の人や、奉納祭でお披露目しました。「表現が苦手な息子に、自由や楽しさを教えてくださって本当に感謝しています。これからもぜひ新しい世界に導いてやってください！」「とっても楽しかったようで、成長を感じました！自信になったと思います」等、感想を頂きました。

